

理事長コラム【豊丘の地名の由来】

私の病院と美浜町矢梨との間の海岸の地名に、神戸（こうど？）・阿奈志（矢梨の語源）・五宝川などの地名が残る。私はこれらをヤマトタケルに因む地名だと思っている。

ヤマトタケルは2, 3世紀の実在の人物で、吉備からヤマトを経て、この地方に来ていたと思う。

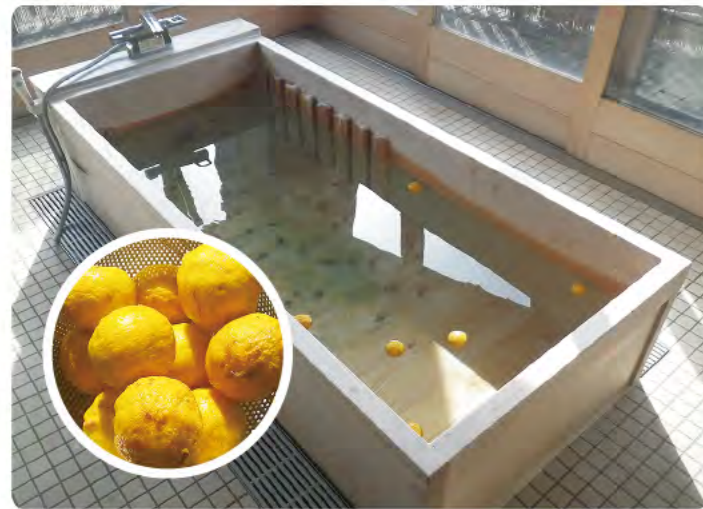
ヤマトタケルは金属を探索していたのであり、当地に、金・銀・銅・亜鉛・鉄などがなかったか探していた。

神戸は上陸地点で、阿奈志神社は採掘場所、五宝川は金属に由来すると考える。

もっと後の時代（7世紀終わりか8世紀初め）に持統天皇が三河行幸した頃に、豊浜・豊丘・豊浦という地名がつけられたのであろう。他に、スサノオの上陸した須佐がある。歴史の推理は面白いと思っている。



理事長 田中 誠



ゆず湯を楽しみました

ゆず湯で体がほかほか温まりました。12月22日の冬至には、浴槽にゆずを入れて入浴を行いました。

ゆず湯に入ると、1年を通してかぜをひかないと伝えられます。

「ゆずの香りがいいね」「浴槽から出たくないなあ〜」と、皆さんご満悦でした。

来年も、健康で幸福な1年を過ごしましょうね！

鯛祭り広場へ行ってきました



あい寿の丘のご利用者で近くの鯛祭り広場へ出かけてきました。お店の玄関を入るとすぐに大きな鯛が飾ってあり、皆さんはびっくりされていました。店内を見て回り試食を食べておいしい物を選んで買っておりました。

帰りには近くの喫茶店によりパフェを食べてご満悦の様子でしたよ。

あい寿の丘 ほっかほか

ふれあいホットニュース



2018年1月 お正月号



成年の年男と年女

新春

謹んで新春のお慶びを申し上げます

旧年中はひとかたならぬご高配にあずかりまして誠に有難うございます。

ご利用者、ご家族、地域に愛される施設、職員が愛する施設。「あい寿の丘」命名の由来でもある「愛」を大切に、社会福祉法人南知多として、南知多町の福祉に貢献し、必要とされる施設であり続けることを使命として、法人職員一同頑張ってお参ります。

皆様のご繁栄をこころからお祈り申し上げますとともに本年も倍旧のお引き立てのほど、切にお願い申し上げます。

統括施設長 早川 一洋



元旦は豪華なおせちを満喫しました

元旦ということで朝食、昼食の献立はおせちでした。

とっても彩りがきれいなおせちに皆さんはとっても喜んでおられ「今日はお祭りかな？」なんて声も聞かれました。

長寿の願いを込めて、えびも入った豪華なおせちになりました。



年末恒例のラーメンツアー

早々と年越しラーメンを食べに灯台ラーメンへ行ってきました。

いつもと違う昼食で「来てよかった、から揚げがおいしいね」「いつもよりいっぱい食べて、お腹がビックリしてる」と楽しく頂き、お腹も心も一杯のひと時でした。



ひだまりではご家族ともちつき大会

臼のなかのもちが、杵でうたれるごとに全員で「よいしょ！よいしょ！」と、かけ声で会場も大盛り上がりでした。

4回に分けてつき上げ、つきたてのおもちを、お雑煮・あんこ・きなこ・磯部餅でおいしく堪能。新しい一年も、もちのようにねばり強く元気に過ごしましょうね。



ケアハウスの門松作り



新年に向けてお部屋に飾る門松を作りました。紙タオルの芯を竹に見立て、松や梅を付け「上手に貼れん」「どうやって貼ろう」と言いながらも頑張り、可愛い門松の出来上がりです。



干支の犬の絵馬を作りました

まず絵馬に貼る犬の飾りを選び、好きな飾りを付け、最後に願い事を書きました。

願い事を書くとき「なにしよう？」「どおしよー？」と悩み困った結果、隣の方のを見て願い事を拝借している方もいました。

不思議な事に皆さんが作った絵馬の顔が、なんと自分の顔にそっくりなんですよ。

絵馬は神社の鳥居と一緒に壁一面へ飾りました。皆さんの願い事が叶うと良いですね。



そよかぜの壁面作り

そよかぜでは、来年の干支である“戌”の壁面を作っています。

ご利用時間に、お花紙を丸めて犬の形面に貼り付けています。

最初は「一体これは何が出来るの？」と言われながらも、完成を目指しています。

年始に向けて完成できるようにがんばって作りました。



クリスマス会で盛り上がりました



あい寿の丘・ひだまり・そよかぜのクリスマス会には、サンタがイチゴのクリスマスケーキとプレゼントを届けてくれました。皆さん、とてもおいしそうに「これはうまい」「大きなイチゴ！」と目を輝かせながらケーキを召し上がりました。

南知多町デイサービスセンターでは、職員がサンタやトナカイになって、踊り・ハンドベルの演奏などで盛大に盛り上がりました。